

2023 年度 シンポジウム

～費用対効果評価の現状と今後のあり方を考える～

3/25 (月) 13:30 ~ 16:50

●会場● 星陵会館 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2
(<https://www.seiryokai.org/kaikan.html>)

●座長● 齋藤 信也 (岡山大学大学院)、福田 敬 (国立保健医療科学院)

- 13:30 - 13:35 開会挨拶 小林 慎 (ISPOR 日本部会会長)
- 13:35 - 13:40 座長挨拶
- 13:40 - 14:10 基調講演：「社会保障の持続可能性と費用対効果評価」
吉野 維一郎 (財務省主計局)
- 14:10 - 14:25 費用対効果評価制度と次期改定について
福田 敬 (国立保健医療科学院)
- 14:25 - 14:40 費用対効果評価制度の現状と今後の課題について
白岩 健 (国立保健医療科学院)
- 14:40 - 14:55 費用対効果評価制度に対するこれまでの業界からの主張と今後に向けて
湯淺 晃 (日本製薬工業協会 産業政策委員会)
- 14:55 - 15:15 休憩
- 15:15 - 15:30 費用対効果評価に期待すること～アカデミアの立場から～
伊藤 由希子 (津田塾大学)
- 15:30 - 15:45 費用対効果分析は、誰のために行うのか～メディア・市民の立場から～
市川 衛 (READYFOR 株式会社)
- 15:45 - 16:00 高額薬適正使用の第一歩
國頭 英夫 (日本赤十字社医療センター)
- 16:00 - 16:15 費用対効果評価と診療ガイドラインについて
池田 俊也 (国際医療福祉大学)
- 16:15 - 16:45 総合討論
- 16:45 - 16:50 閉会挨拶 後藤 励 (ISPOR 日本部会次期会長)
(敬称略)